



2019年6月29日～2019年7月5日

2019年7月8日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。年金改革法案が下院特別委員会にて賛成36：反対13で承認されたこと、マイア下院議長が下院議会での票決を議会休会入り前の7月17日（現地）までに行う意向を示したことが好感されました。

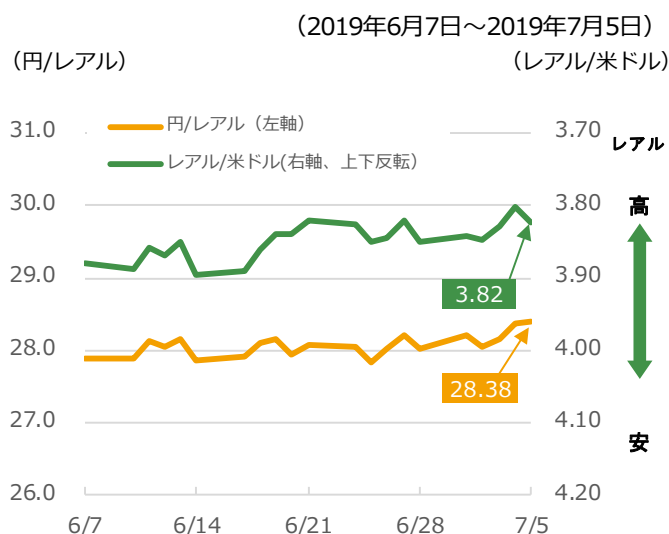
経済指標に関しては、6月の各種PMI（購買担当者指数）や5月の鉱工業生産などが発表されました。PMIについては製造業、サービス業、コンポジット（製造業とサービス業の複合）の全てで前月から上昇しましたが、サービス業とコンポジットについては景況感の悪化と改善の分岐点である50を引き続き下回っています。鉱工業生産については前月比・前年比ともに市場予想を上回りましたが、引き続き弱い内容となっています。

今週の見通し

今週はIPCAインフレ率や小売売上高、経済活動指数などの経済指標の発表が予定されています。足元の弱い経済指標を受け、第2四半期のGDP（国内総生産）が第1四半期に続いてマイナスになる可能性があるため、GDPの先行指標である経済活動指数に注目したいと思います。

年金改革法案については、下院特別委員会を通過したことで、市場の注目が一気に高まっています。議会が休会入りする前までは年金改革法案に関するニュースが市場のメインドライバーになりそうです。

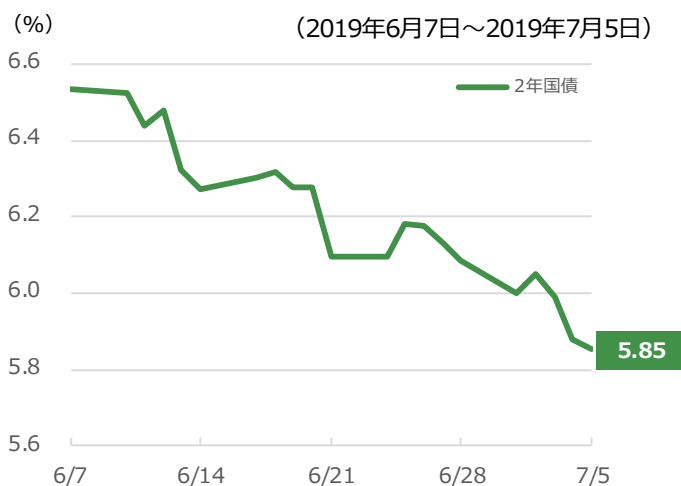
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

大和投資信託

Daiwa Asset Management